
参 考 資 料

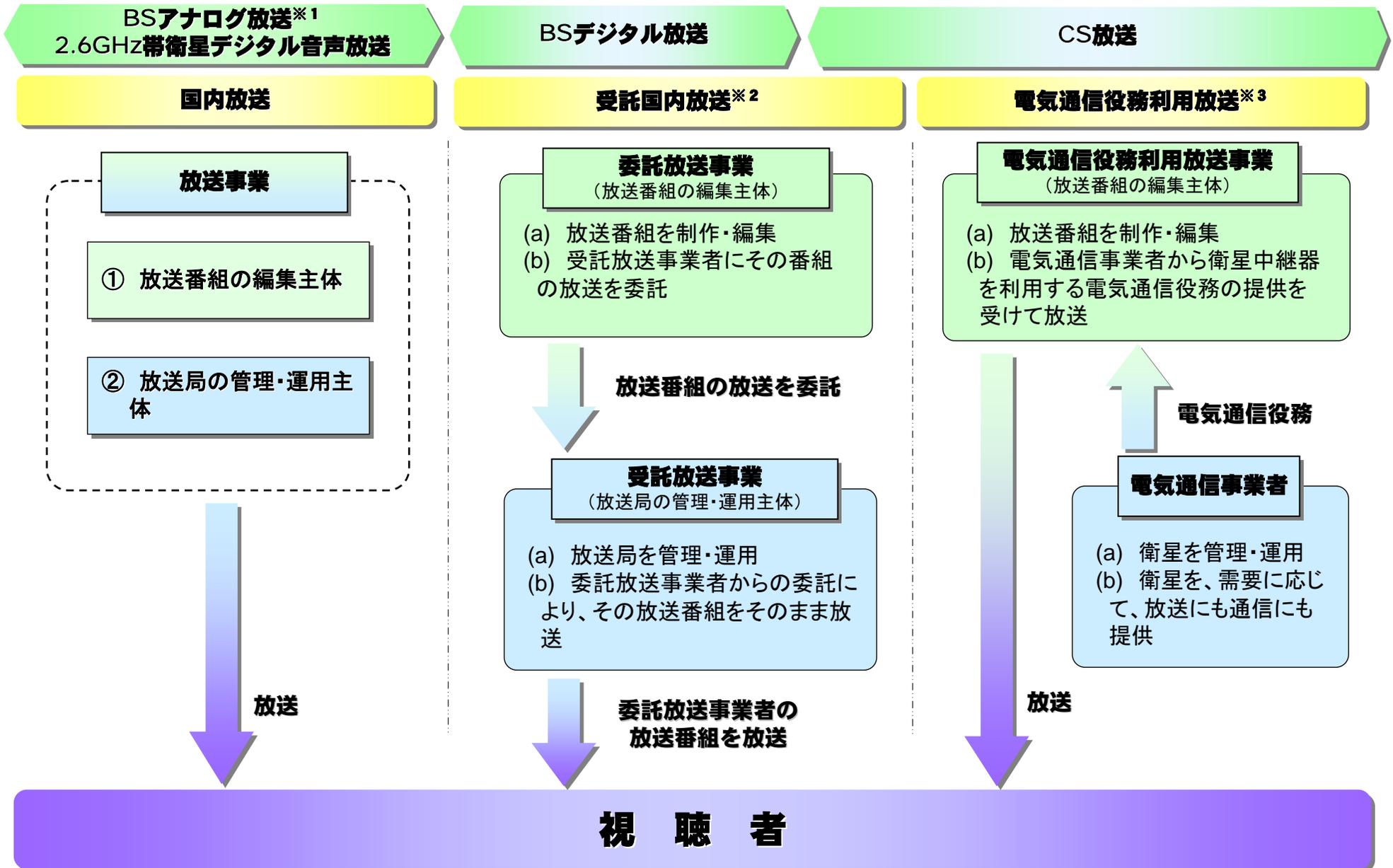
平成19年12月21日

1 我が国の衛星放送市場等

2 NHKの衛星放送

3 NHKの衛星放送に関する視聴者アンケート調査

我が国の衛星放送に関する制度



※1 BSアナログ放送については、2007年11月に受委託制度に移行。

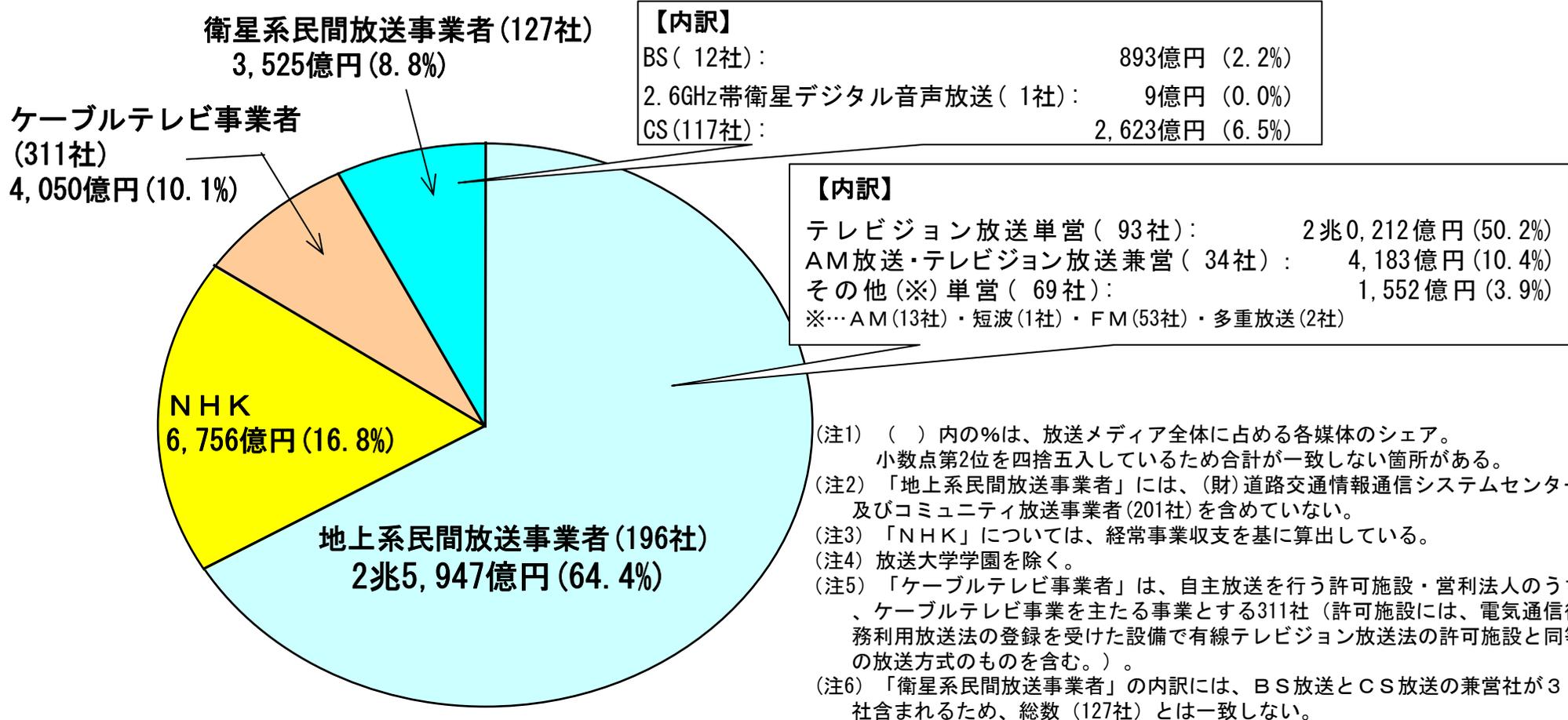
※2 110度CSデジタル放送については、右旋円偏波を利用するものに限る。

※3 110度CSデジタル放送については、左旋円偏波を利用するものに限る。

放送メディアの市場規模(2006年度)

- 放送メディア全体の市場規模は、2006年度(平成18年度)において、4兆0,278億円となっている。
- 各放送事業者のシェアは、地上系民間放送事業者が64.4%、NHKが16.8%、ケーブルテレビ事業者が10.1%、衛星放送事業者が8.8%を占めている。

放送メディア全体の収入 2006年度(平成18年度) 4兆0,278億円



(注1) ()内の%は、放送メディア全体に占める各媒体のシェア。
 小数点第2位を四捨五入しているため合計が一致しない箇所がある。

(注2) 「地上系民間放送事業者」には、(財)道路交通情報通信システムセンター及びコミュニティ放送事業者(201社)を含めていない。

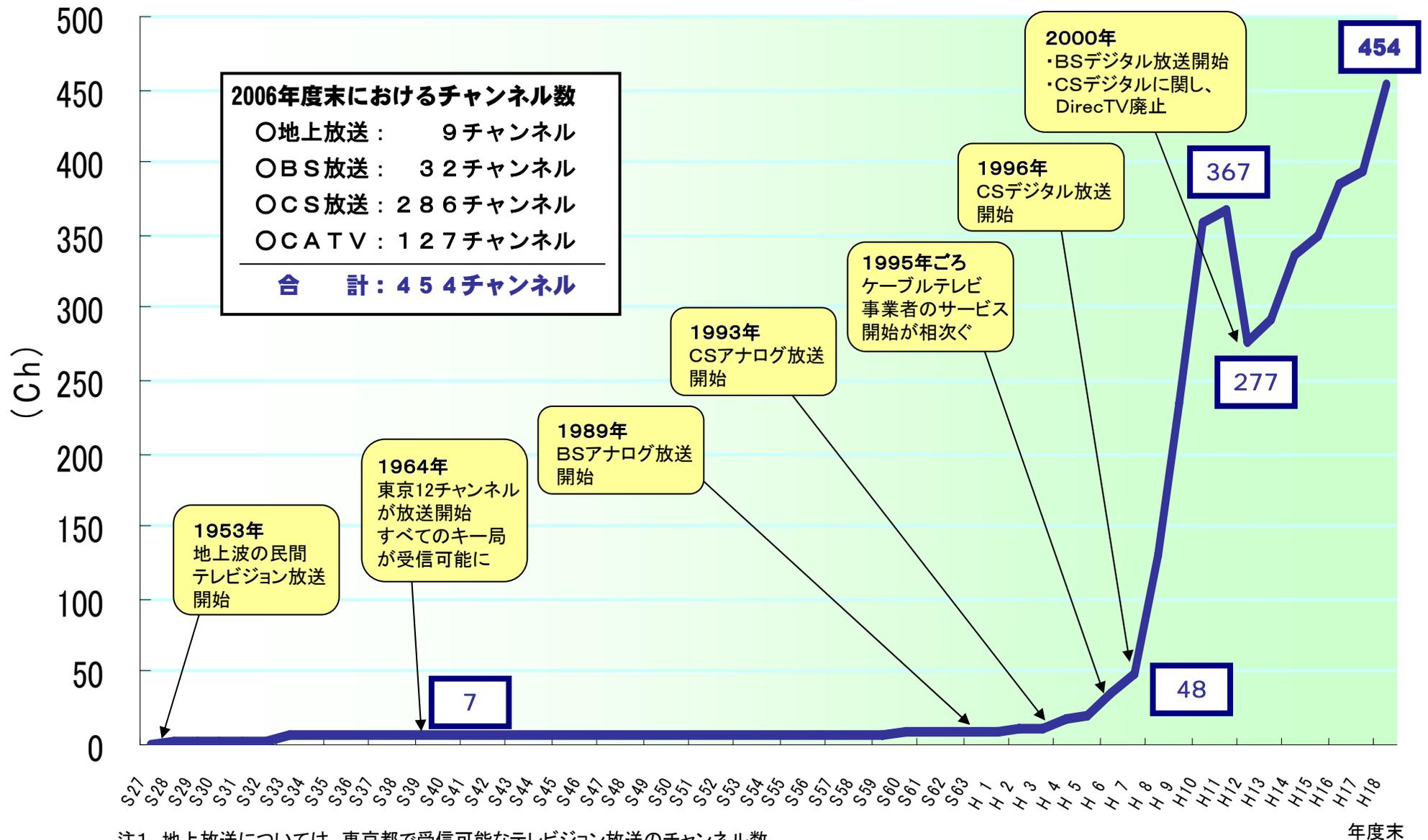
(注3) 「NHK」については、経常事業収支を基に算出している。

(注4) 放送大学学園を除く。

(注5) 「ケーブルテレビ事業者」は、自主放送を行う許可施設・営利法人のうち、ケーブルテレビ事業を主たる事業とする311社(許可施設には、電気通信役務利用放送法の登録を受けた設備で有線テレビジョン放送法の許可施設と同等の放送方式のものを含む。)

(注6) 「衛星系民間放送事業者」の内訳には、BS放送とCS放送の兼営社が3社含まれるため、総数(127社)とは一致しない。

多チャンネル化の状況



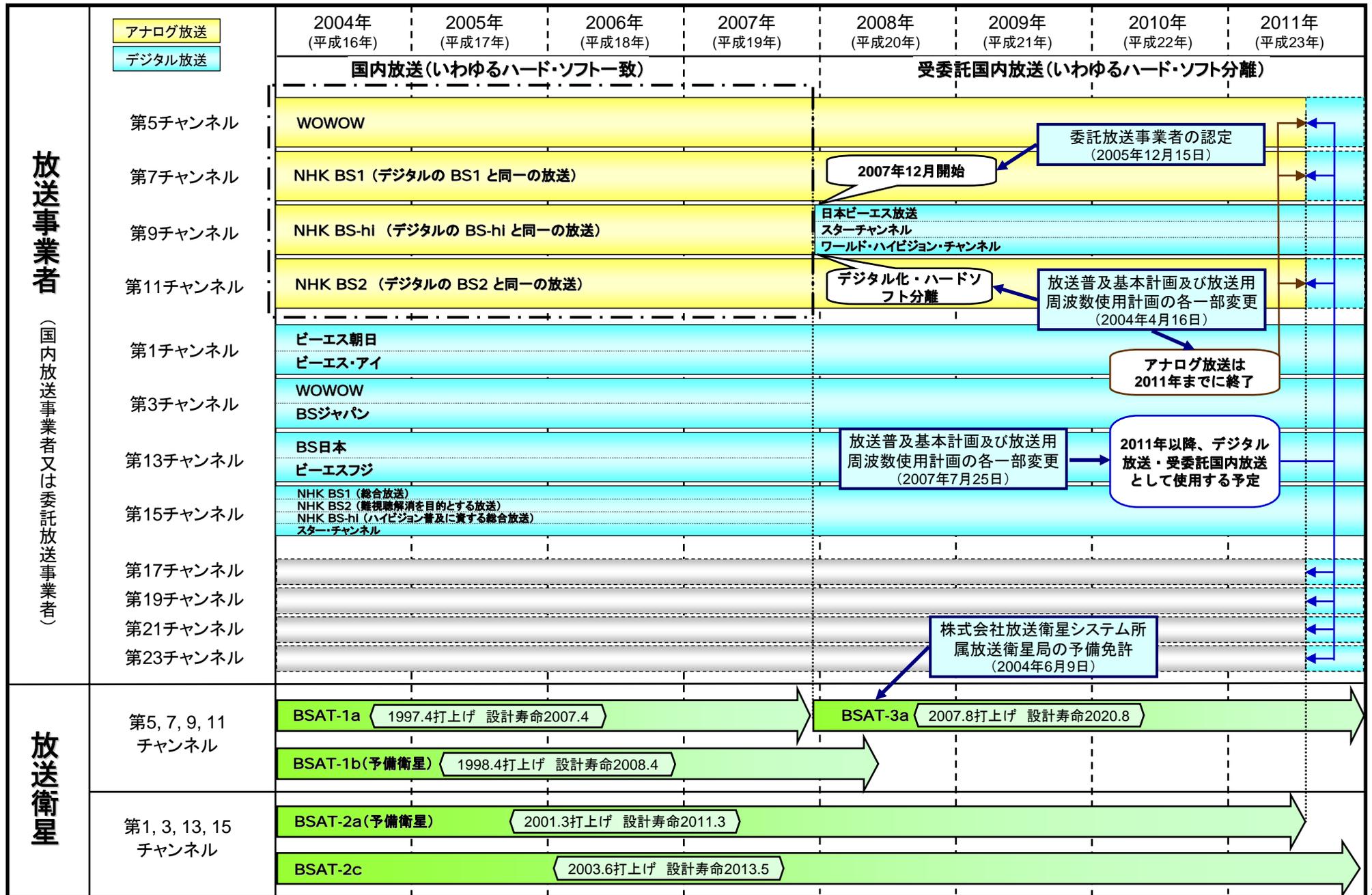
注1 地上放送については、東京都で受信可能なテレビジョン放送のチャンネル数

注2 BS放送、CS放送については、標準テレビジョン放送及び高精細度テレビジョン放送を足し上げて算出

注3 CATVについては、東京都の主要なケーブルテレビ事業者によって提供されているチャンネル数の平均

注4 上記のほか、全国をサービス地域とする有線役務利用放送事業者4社があり、その平均チャンネル数は約43チャンネルである

BSテレビジョン放送のチャンネルと使用している衛星の推移



衛星放送の現況

区分	方式 (プラットフォーム)	放送事業者	番組数等			加入者数等 (万世帯)	使用衛星 (所有者/軌道位置)	放送用中継器数 (全中継器数)	
			TV	音声	データ				
BS	アナログ	NHK	3 (HD1,SD2)	-	-	1,321	BSAT-1 (NHK, WOWOW/110度)	4	
		WOWOW	1	-	-	110			
	デジタル	NHK	3 (HD1,SD2)	-	-	3,036	BSAT-2 (BSAT/110度)	4	
		WOWOW	4 (HD1,SD3)	-	-				
		民放キー局系5社	20 (HD5, SD15)	-	-				
		スターチャンネル	1	-	-				
		その他	-	1	4				
	モバイル放送	-	45	2	非公表	MBSAT (モバイル放送/144度)	1		
合計		12社(NHKを除く)	32	46	6	1,476	-	9	
CS	110度 以外	デジタル (SKYPerfectTV!)	100社	188	102	36	360.0	JCSAT-3A (ジェイサット/128度)	20 (42)
		デジタル (SKYPerfectTV! 以外)	4社	4	632	2	52.8	JCSAT-4A (ジェイサット/124度)	16 (32)
		デジタル (ジェイサット/144度)	2 (24)						
	アナログ	1社	-	10	1	6.0	SUPERBIRD-C (宇宙通信/144度)	2 (32)	
	110度	デジタル (e2 by スカパー!)	12社	82 (HD15,SD67)	-	2	59.0	N-SAT-110 (ジェイサット、宇宙通信/110度)	12 (24)
		デジタル (e2 by スカパー! 以外)	1社	3 (HD1,SD2)	-	-	(47.4)		
	合計		114社	277	745	41	477.8	-	52 (152)

注1 アナログWOWOWの加入者数は、2006年(平成18年)12月よりCS経由の加入者も含む。

注2 BSデジタルの視聴世帯数は、受信機普及台数(NHK調べ)にケーブル経由を加えた値。

注3 BSの合計視聴世帯数は、NHK受信契約数(アナログ・デジタル合算)にケーブル経由を加えた値。

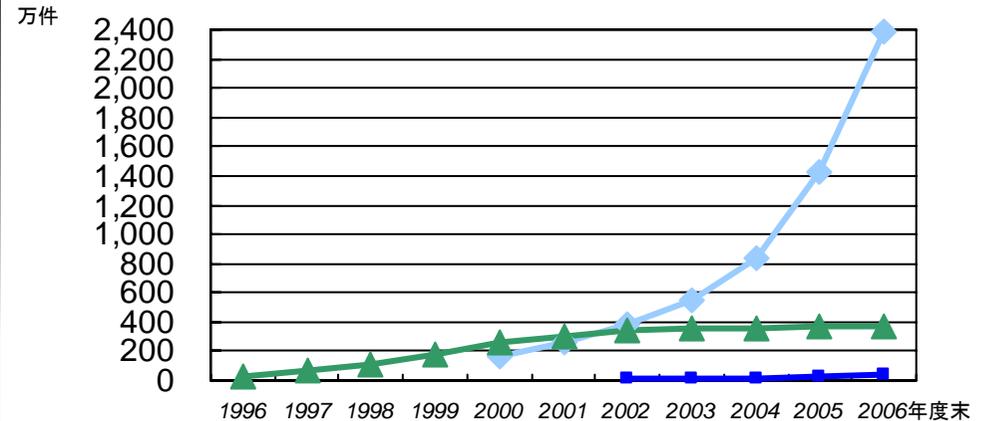
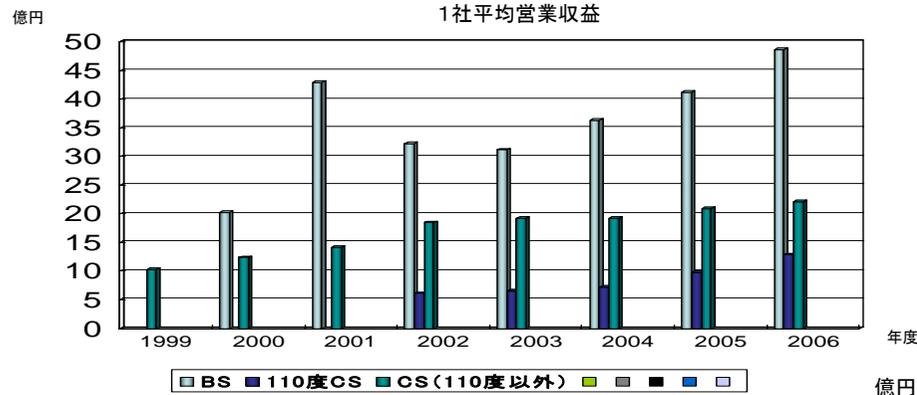
注4 e2 by スカパー! 以外の放送は、無料放送のため視聴世帯数はe2 by スカパー!と同数としている。

(特に記載の無いものについては、2007年(平成19年)10月末現在の数値。)

民間衛星放送事業者の概要

- 1社当たりの営業収益は、BSデジタル放送が最大
- CSデジタル放送(110度以外)は、単年度の営業損益が2004年度(平成16年度)に黒字化

- BSデジタル放送の受信可能者数は、2006年12月末に2,000万件を突破し、2007年3月末現在で、約2,400万件となっている。
- CSデジタル放送は、2007年3月末現在で、約420万件が加入している。



年度		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
BSデジタル放送	社数	2社	19社	19社	18社	19社	17社	13社	12社
	営業収益	632.9	730.7	897.0	824.5	796.0	810.6	847.1	893.2
	(1社平均)	316.4	38.5	47.2	45.8	41.9	47.7	49.8	74.4
	営業損益	73.4	▲175.7	▲356.9	▲256.4	▲210.0	▲137.2	▲96.1	▲32.7
無料広告の事業者(5社)	社数	-	5社						
	営業収益	-	101.7	214.5	161.5	156.1	181.9	206.0	243.3
	(1社平均)	-	20.3	42.9	32.3	31.2	36.4	41.2	48.7
	営業損益	-	▲97.8	▲316.8	▲239.7	▲181.1	▲137.0	▲89.5	▲29.4
110度CSデジタル放送	社数	-	-	-	18社	17社	17社	16社	14社
	営業収益	-	-	-	109.9	110.0	123.2	156.7	180.9
	(1社平均)	-	-	-	6.1	6.5	7.2	9.8	12.9
	営業損益	-	-	-	▲65.6	▲51.8	▲67.8	▲7.9	▲8.3
CSデジタル放送(110度以外)	社数	93社	93社	100社	96社	100社	105社	101社	99社
	営業収益	960.5	1,154.2	1,424.8	1,779.9	1,929.6	2,021.7	2,117.8	2,189.5
	(1社平均)	10.3	12.4	14.2	18.5	19.3	19.3	20.9	22.1
	営業損益	▲469.4	▲245.6	▲146.9	▲52.0	▲34.8	19.6	52.1	28.6

年度末	1996	1997	1998	1999
BSデジタル放送の受信可能者数	-	-	-	-
110度CSデジタル放送の加入件数	-	-	-	-
CSデジタル放送(110度以外)の加入件数	24	63	111	182

2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
161	263	381	552	839	1,422	2,386
-	-	7	12	20	32	47
262	304	338	352	362	374	369

注1 BSデジタル放送は2000年(平成12年)12月1日開始、110度CSデジタル放送は2002年(平成14年)3月1日開始
 注2 営業収支及び営業損益については、当該業務関係のみの数値
 注3 2006年度(平成18年度)については事業者のうち、BSデジタル放送とCSデジタル放送(110度以外)の兼営社が3社含まれる。統計上は、これらの3社は分計されている。

注1 BSデジタル放送:受信機出荷台数(PDP・液晶テレビ、ブラウン管テレビ、BSデジタルチューナー(録画機含む。)、ケーブルテレビ用デジタルSTB、ケーブルテレビのアナログ変換件数の合計)とCATV経由のアナログ再送信受信世帯数の合計。
 注2 110度CSデジタル放送の加入件数:個人契約者数(有料視聴契約(個人本登録)を結び、視聴料の支払いが発生している加入者数)に、法人契約者数(代理店展示用を含む)、技術開発用登録数などを加えた総登録件数
 注3 CSデジタル放送(110度以外)の加入件数は、「スカイパーフェクTV!」の加入件数:個人契約者数(有料視聴契約(個人本登録)を結び、視聴料の支払いが発生している加入者数)に、有料視聴契約締結前の無料視聴期間中の数(仮登録)、法人契約者数(代理店展示用を含む)、技術開発用登録数などを加えた総登録件数
 注4 CS放送(110度以外)において、「スカイパーフェクTV!」のプラットフォーム以外のデジタル放送の加入件数が約52.7万件。このほか、アナログ音声放送の加入件数が約6万件。(以上いずれも平成18年度末)

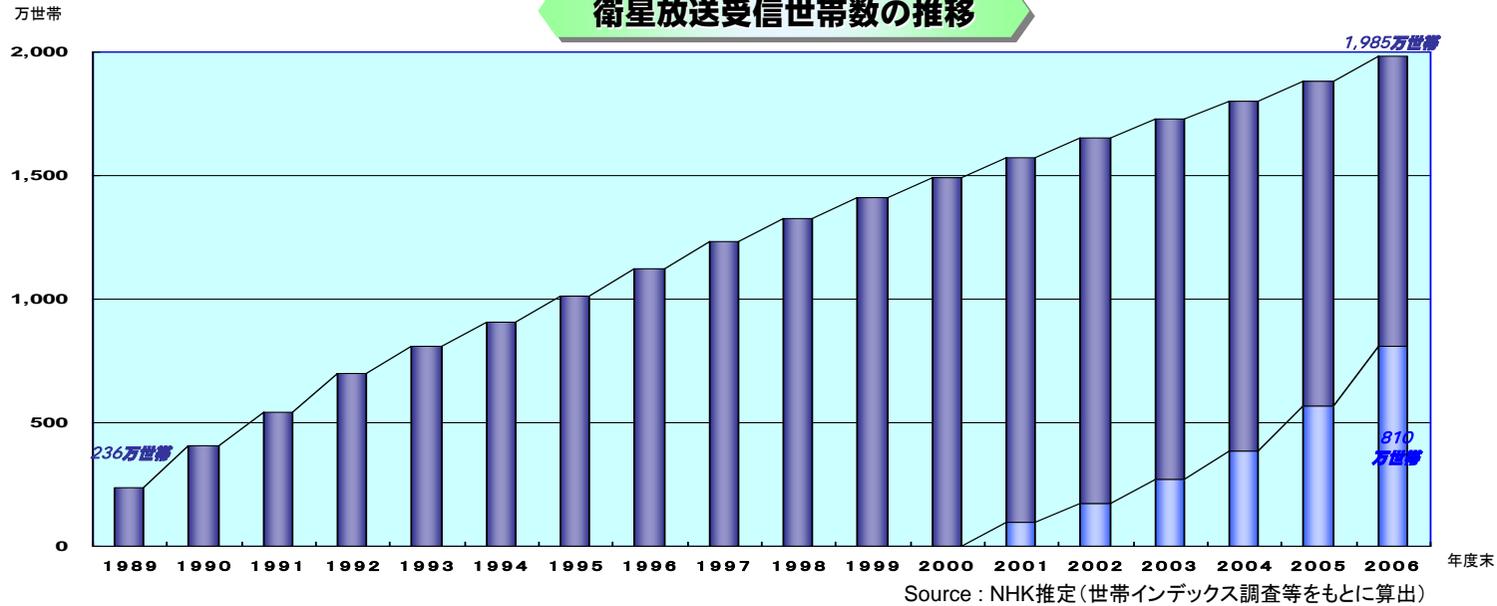
BSデジタル放送(テレビ)の委託放送事業者の概要

社名	株式会社BS日本	株式会社ビーエス朝日	株式会社ビーエス・アイ	株式会社BSジャパン	株式会社ビーエスフジ
資本金	250億円	350億円	400億円	250億円	310億円
放送の種類	HD 1番組 SD 3番組	HD 1番組 SD 3番組 (いずれも有料放送を含む。)	HD 1番組 SD 3番組 (いずれも有料放送を含む。)	HD 1番組 SD 3番組	HD 1番組 SD 3番組 (いずれも有料放送を含む。)
当初認定日	1998. 10. 27	1998. 10. 27	1998. 10. 27	1998. 10. 27	1998. 10. 27
直近の認定更新日	2003. 10. 27	2003. 10. 27	2003. 10. 27	2003. 10. 27	2003. 10. 27

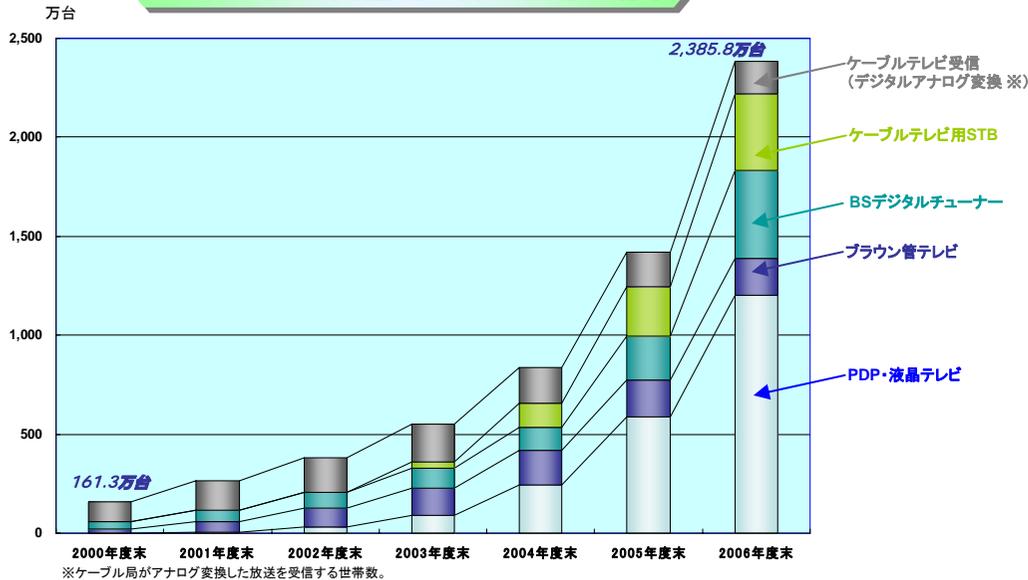
社名	株式会社WOWOW	株式会社スター・チャンネル		日本BS放送株式会社	ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社
資本金	50億円	20億円		30億円	15億円
放送の種類	HD 1番組 SD 3番組 (いずれも有料放送を含む。)	SD 1番組 (有料放送を含む。)	HD 1番組 (有料放送を含む。)	HD 1番組	HD 1番組
当初認定日	1998. 10. 27	1998. 10. 27	2005. 12. 15	2005. 12. 15	2005. 12. 15
直近の認定更新日	2003. 10. 27	2003. 10. 27	—	—	—

衛星放送受信世帯数等の推移

衛星放送受信世帯数の推移

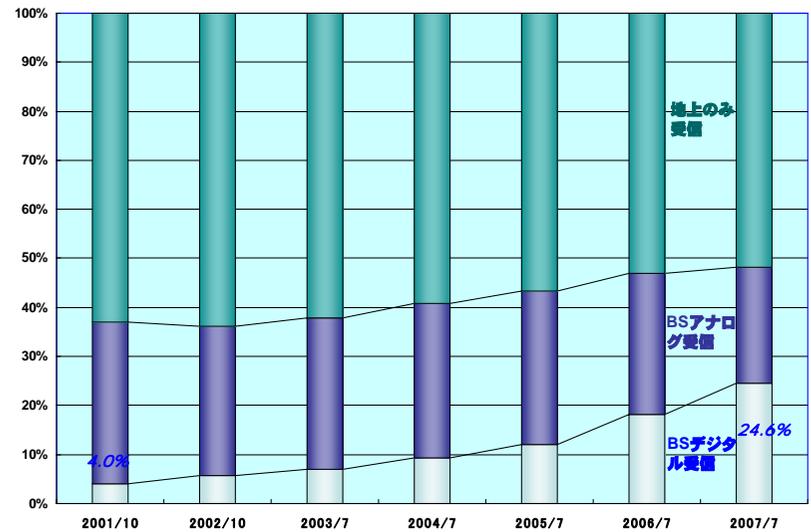


BSデジタル受信機出荷台数等の推移



Source : NHK発表 (http://www.nhk.or.jp/digital/spread/spread_bs.html)

衛星放送受信世帯割合の推移



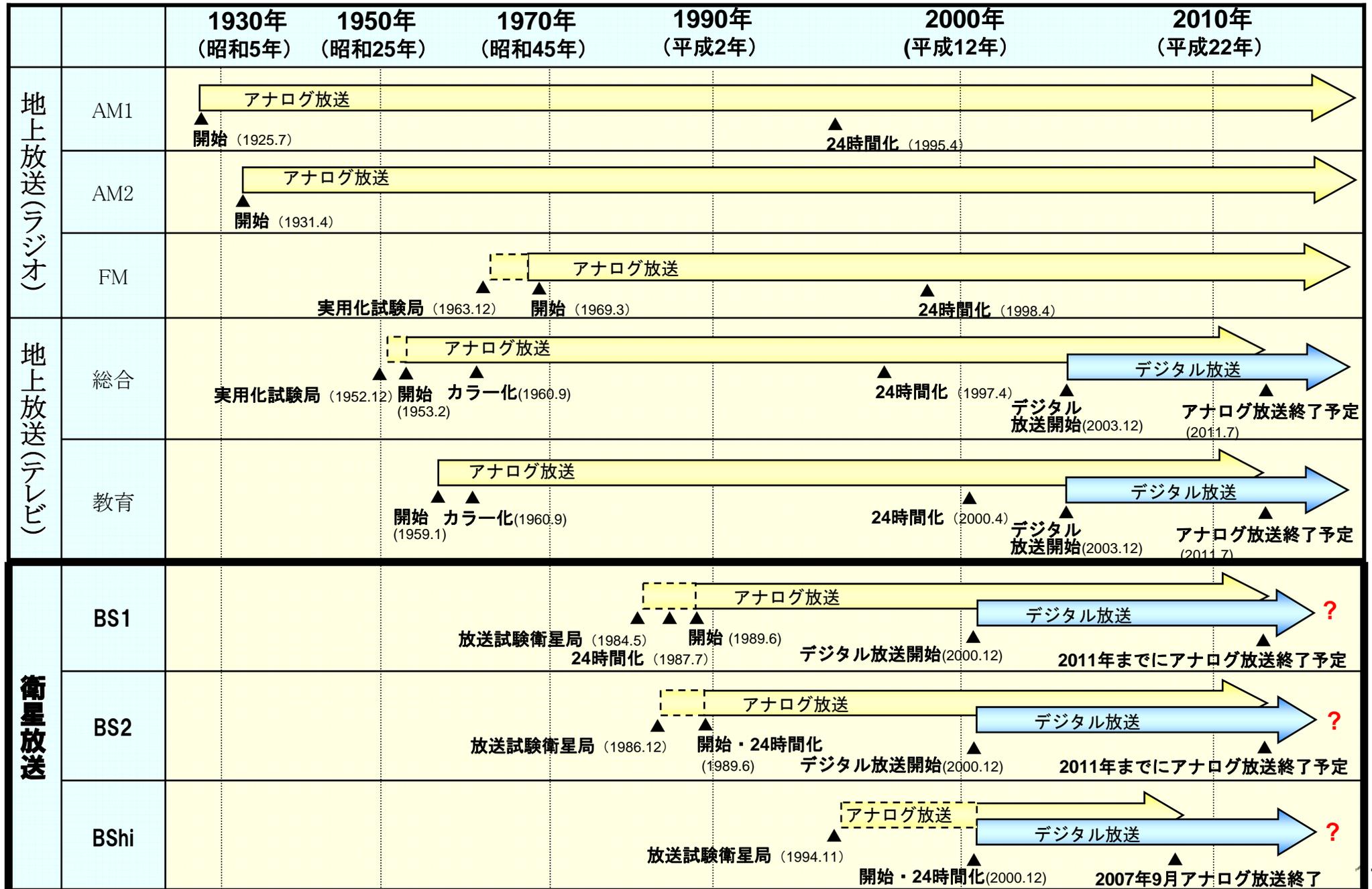
Source : NHK受信実態調査

1 我が国の衛星放送市場等

2 NHKの衛星放送

3 NHKの衛星放送に関する視聴者アンケート調査

NHKの衛星放送の変遷

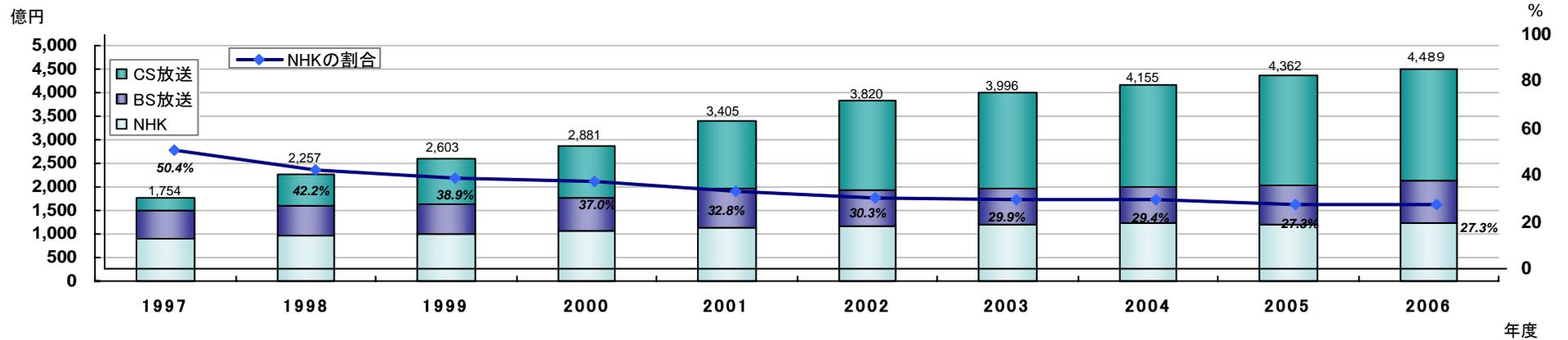


NHKの衛星放送の位置付け

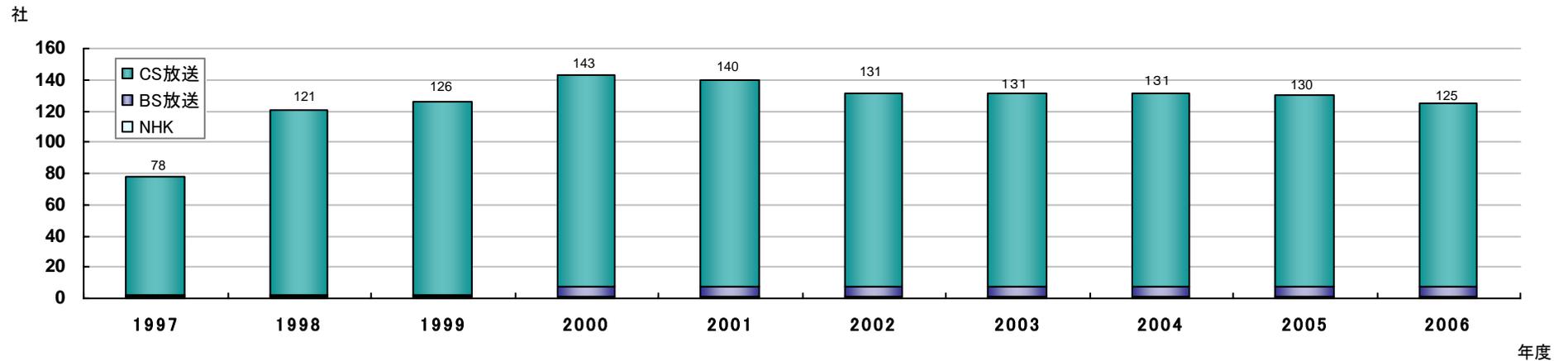
		放送普及基本計画				備考 (免許条件等)
		放送局の置局の指針・基本的事項		放送対象地域ごとの放送系の数		
				放送対象地域	数	
地上放送 (ラジオ)	AM1	総合放送		関東広域圏、中京広域圏及び近畿広域圏の各区域	放送対象地域ごとに1	
				それらに属する県を除く道県の各区域	放送対象地域ごとに1	
	AM2	教育放送		全国	1	
	FM	総合放送		都道府県の各区域	放送対象地域ごとに1	
地上放送 (テレビ)	総合	総合放送	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ放送は平成23年までに終了 ・デジタル放送は、 <ul style="list-style-type: none"> －高精細度テレビジョン放送を中心としつつ、デジタル技術の特性を生かした放送を行うこと －アナログ放送が終了するまで、自ら行うアナログ放送の大部分の放送番組を含めて放送すること等 	関東広域圏 (デジタルでは茨城県を除く。)	1	教育番組10%以上、 教養番組20%以上
				関東広域圏に属する県を除く道府県の各区域	放送対象地域ごとに1	
	教育	教育放送		全国	1	教育番組75%以上、 教養番組15%以上
衛星放送	BS1	衛星系による放送の普及に資するためその特性を生かして行う総合放送	<ul style="list-style-type: none"> ・これらの放送は、アナログ放送が終了するまで行うものとし、その後については、当該放送の必要性、周波数事情その他の事情を勘案し、2番組(主たる放送の番組数)を超えないことを前提に、衛星系による協会の放送全体を見直すものとする(放送普及基本計画(総務省告示)) 	全国	1	教育番組10%以上、 教養番組20%以上
	BS2	難視聴解消を目的とする放送		全国	1	教育番組30%以上、 教養番組20%以上
	BShi	技術動向を踏まえ、デジタル技術の特性及び高画質性を生かしたデジタル方式の高精細度テレビジョン放送の普及に資する高精細度テレビジョン総合放送		全国	1	

衛星放送における放送事業者の営業収益の推移

1 営業収益の推移



2 事業者数の推移



1 我が国の衛星放送市場等

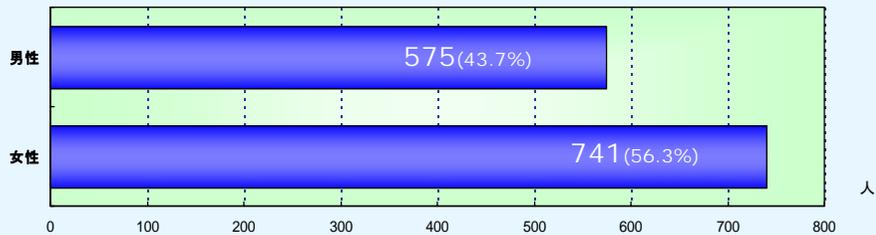
2 NHKの衛星放送

3 NHKの衛星放送に関する視聴者アンケート調査

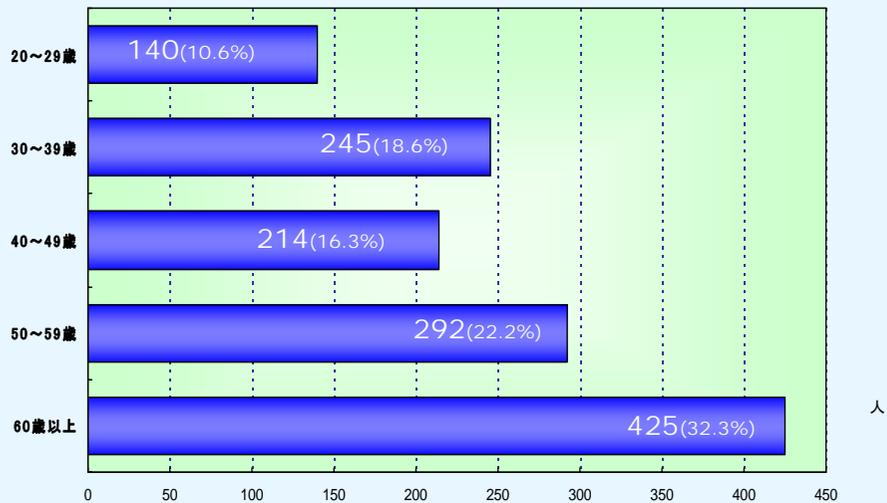
視聴者の意向に係るアンケート調査

- 総務省において、(社)中央調査社に委託し、2007年2月9日～12日にアンケート調査を実施。
- 全国20歳以上の男女2,000人(住民基本台帳から層化無作為2段抽出)を対象に、調査員による個別面接聴取法により実施。1,316人より有効回答。

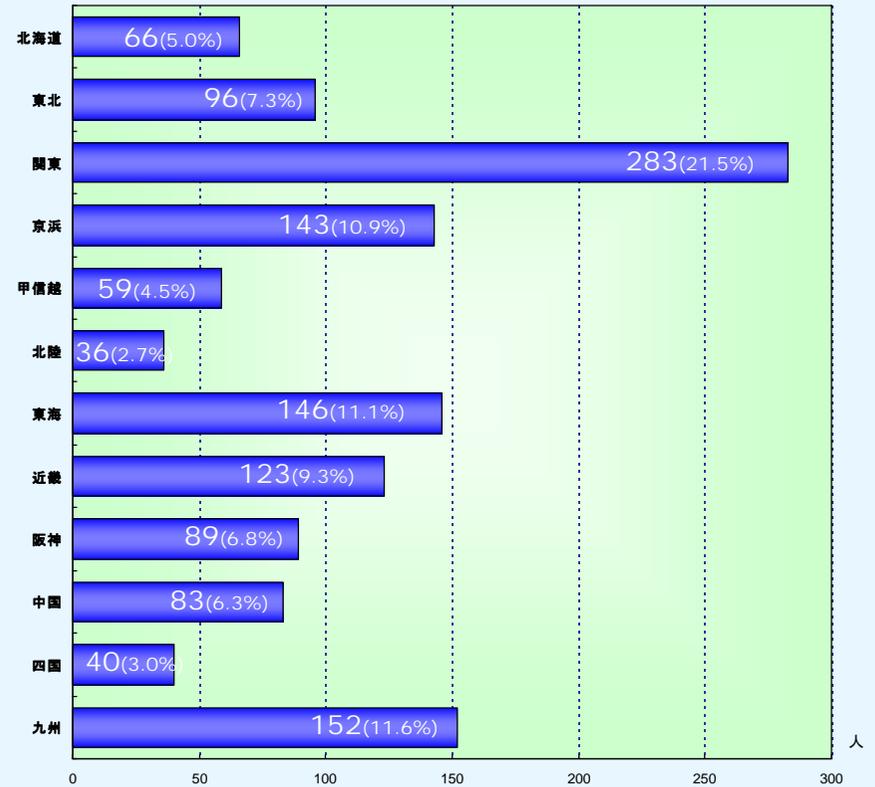
性別



年齢



居住地域

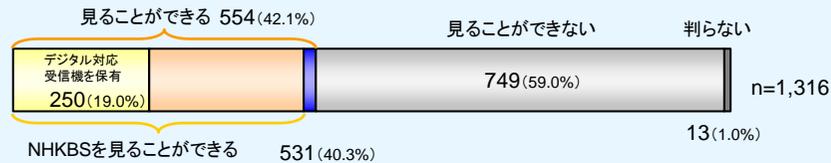


○北海道:北海道 ○東北:青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 ○関東:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、京浜ブロック以外の東京都・神奈川県 ○京浜:東京23区、横浜市、川崎市
 ○甲信越:新潟県、山梨県、長野県 ○北陸:富山県、石川県、福井県 ○東海:岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 ○近畿:滋賀県、京都府、阪神ブロック以外の大阪府・兵庫県 ○阪神:大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、守口市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市 ○中国:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 ○四国:徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 ○九州:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮城県、鹿児島県、沖縄県

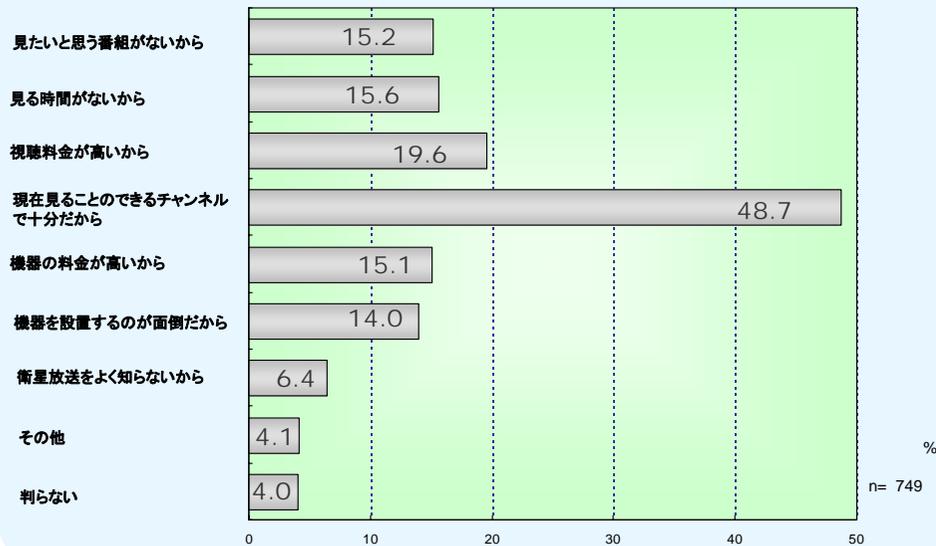
衛星放送の受信実態

- 衛星放送を視聴しているのは、約4割。うち、半数がデジタル対応受信機を保有。
- 衛星放送を視聴しない理由としては、「現在見ることができるチャンネルで十分だから」等。
- BS放送の魅力としては、「高画質・高音質の番組の放送」、「地上放送では放送しない番組の放送」等。

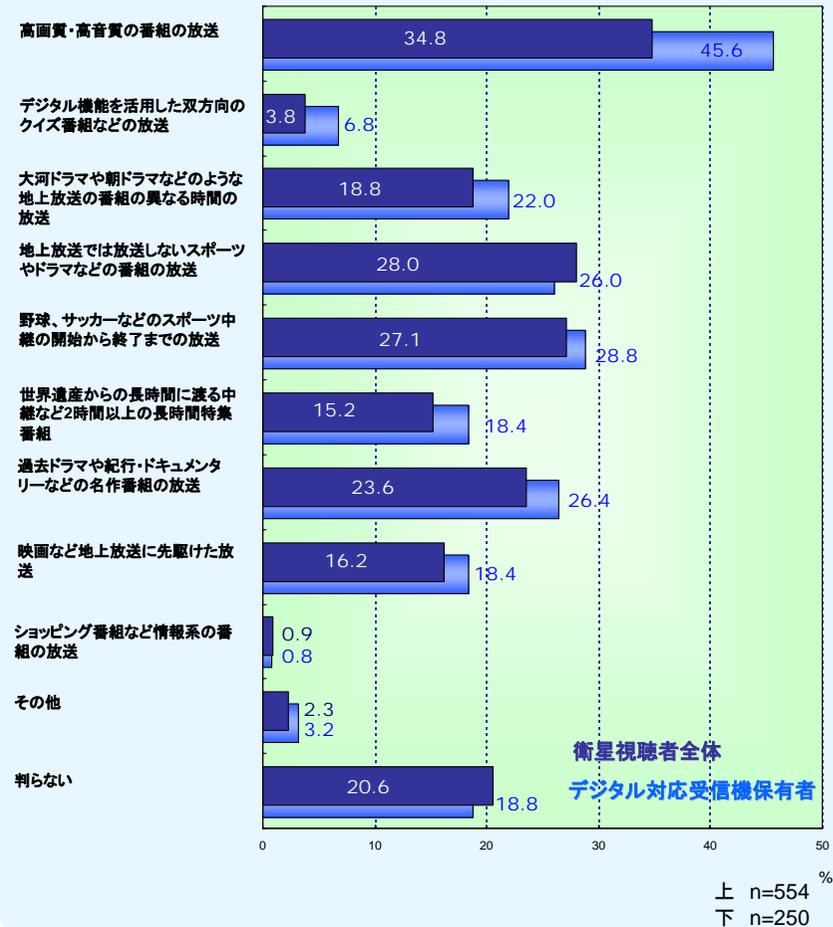
衛星放送受信実態



衛星放送を視聴しない理由



BS放送の魅力



NHKの衛星放送と民間放送事業者の衛星放送の関係

- 過半数の者が、週1日以上衛星放送を視聴。
- よく見るチャンネルとしては、NHKのBS1, BS2が圧倒的多数。
- NHKの3チャンネルの位置付けについては、全体の半数近くの者が知っていると回答。

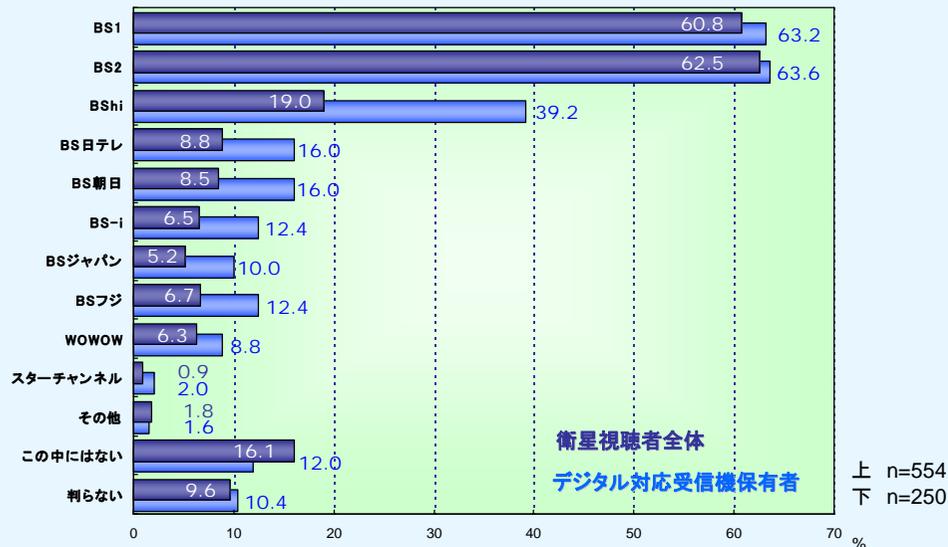
衛星放送視聴実態



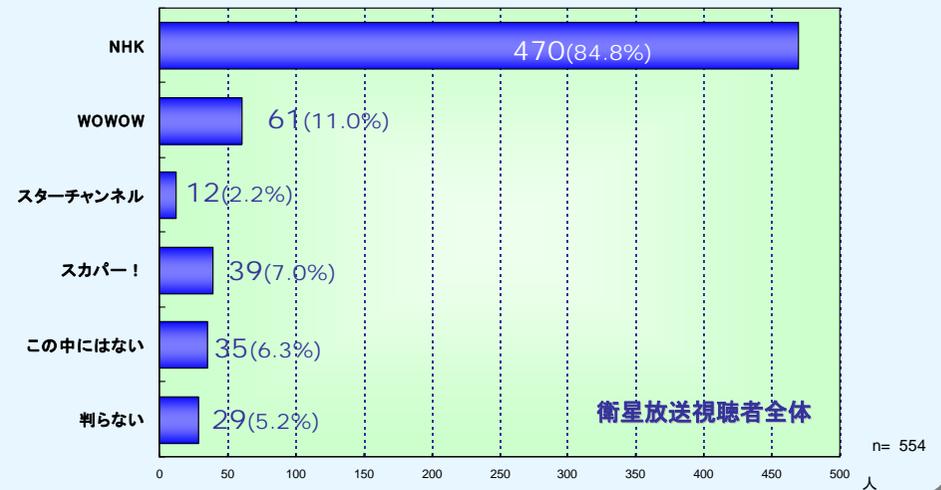
NHK3チャンネルの位置付け



よく見るチャンネル (複数回答)



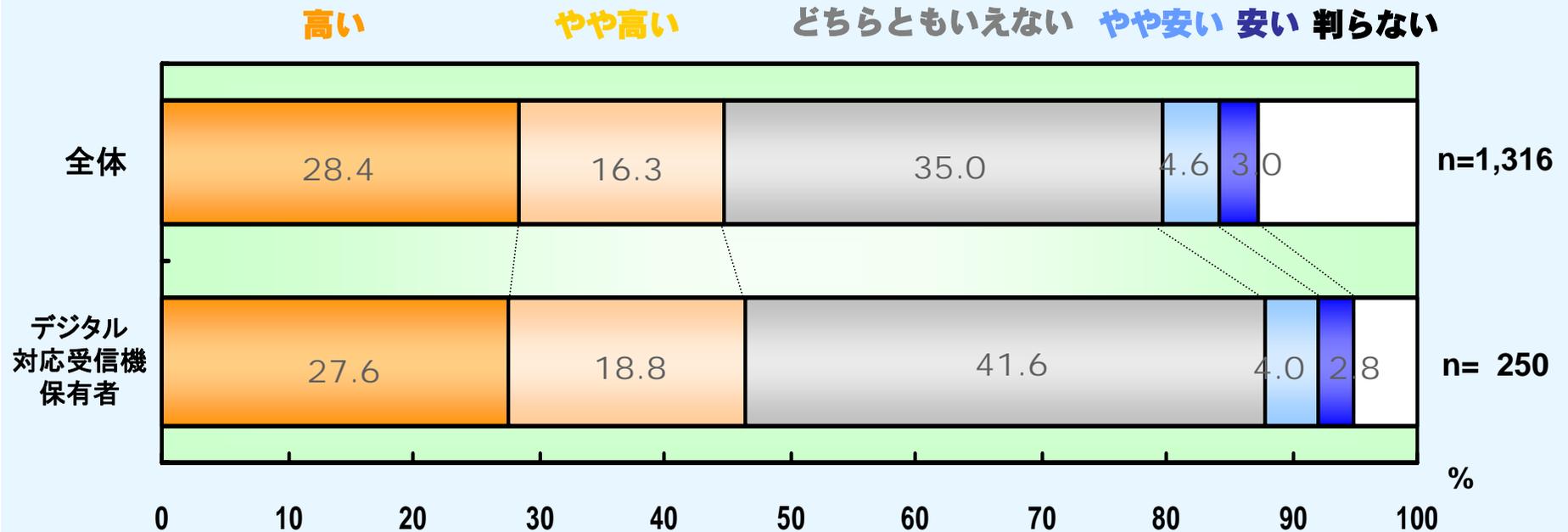
契約している衛星放送



NHKの衛星付加受信料

➤ NHKの衛星付加受信料(月額945円)については、「高い」、「やや高い」とした者が半数弱。

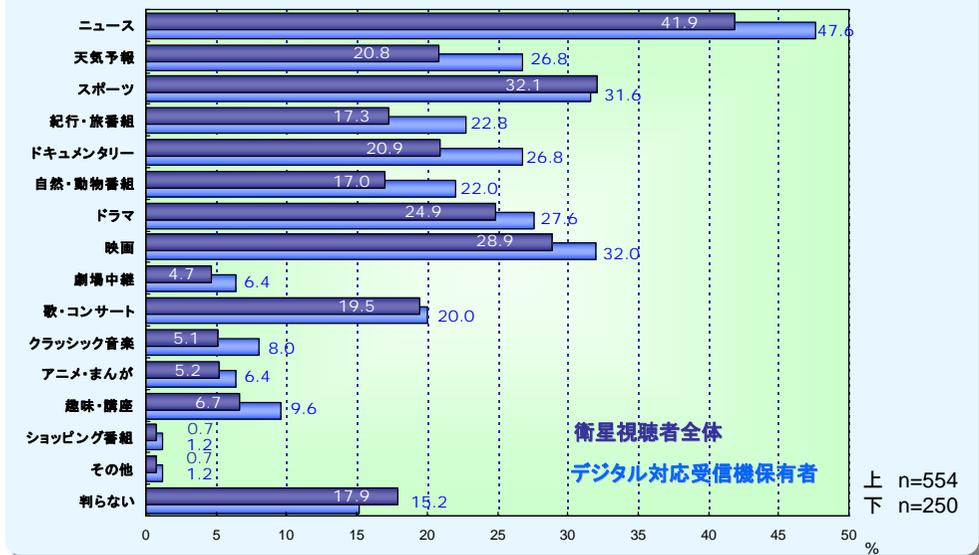
NHKの衛星付加受信料の評価



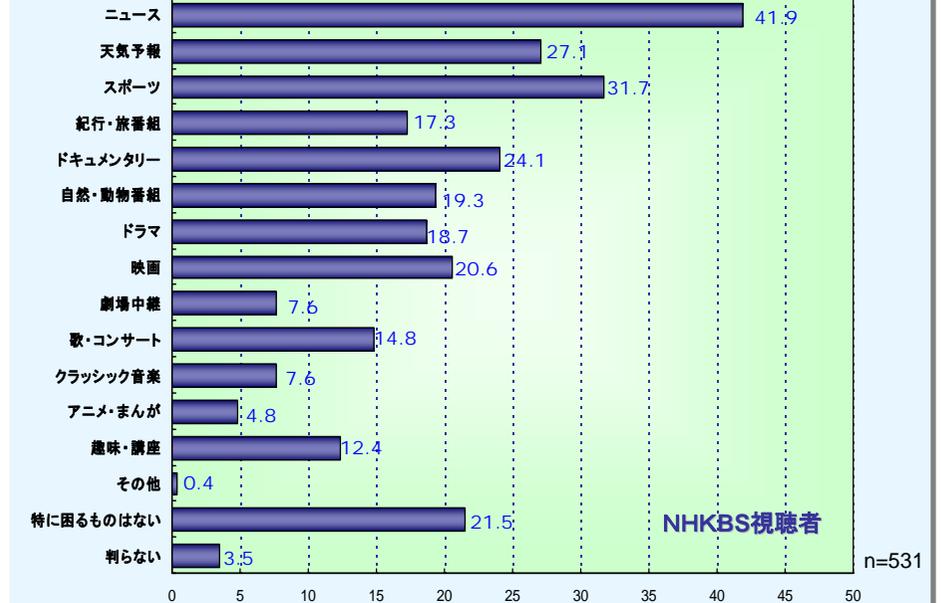
NHKの衛星放送の番組

➤ よく見る番組は、「ニュース」、「スポーツ」、「映画」等。なくなると困る番組としては、「ニュース」、「スポーツ」、「天気予報」等。

よく見る番組（複数回答）



なくなると困る番組（複数回答）



【参考】よく見られている番組の視聴率

【BS1】〔放送時間10分以上〕

- MLB パイレーツ×ヤンキース 1.9%
- MLB パイレーツ×ヤンキース 1.6%
- BSニュース 1.5%

【BS2】〔衛星放送受信者分母、放送時間10分以上〕

- どんと晴れ 6.5%
- さくら 4.2%
- BS日本のうた 1.5%

注1 自宅で衛星放送を見ることができる衛星受信者のみを対象
注2 放送時間が10分以上の番組を対象

〔出典〕NHK放送文化研究所「全国個人視聴率調査(平成19年6月)」

調査日：2007年6月4日(月)～6月10日(日)

調査対象：全国7歳以上の国民 3,600人(うち2,449人より有効回答)

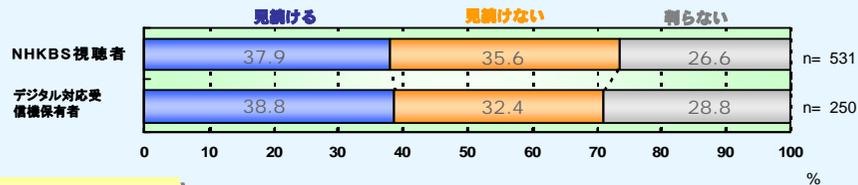
調査方法：配布回収法(個人単位)

NHKの衛星放送のチャンネル数の削減

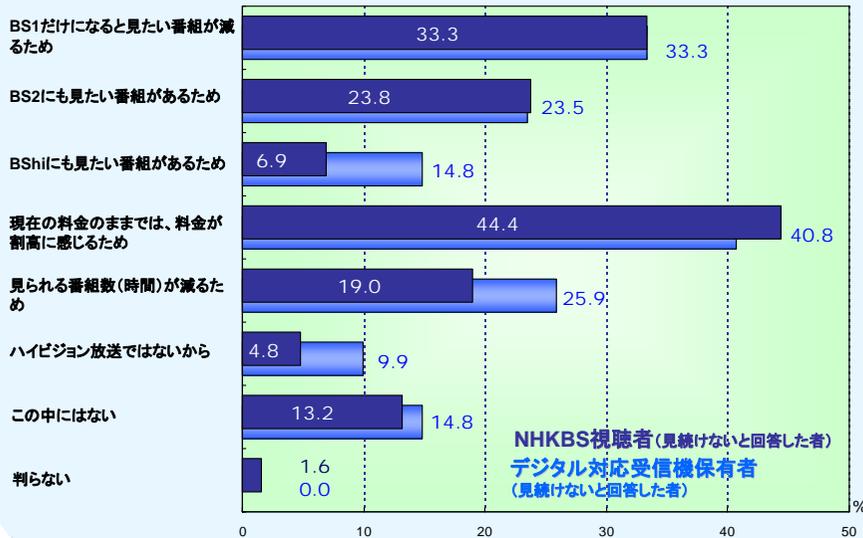
- NHKのBS1、BS2については、視聴者層が分かれており、いずれか1チャンネルとなった場合は、「視聴を継続」、「視聴を止める」、「分からない」がほぼ同数。
- 「視聴を止める」理由は、「料金が割高になる」、「見たい番組が減る」等。

BS1だけの場合の視聴

視聴意向

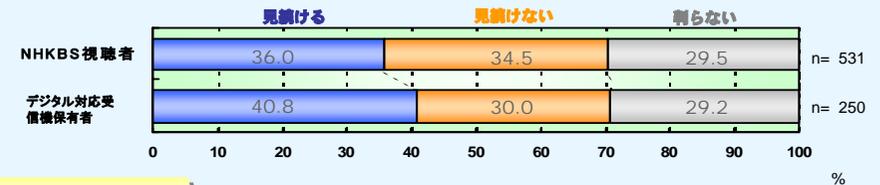


視聴しない理由

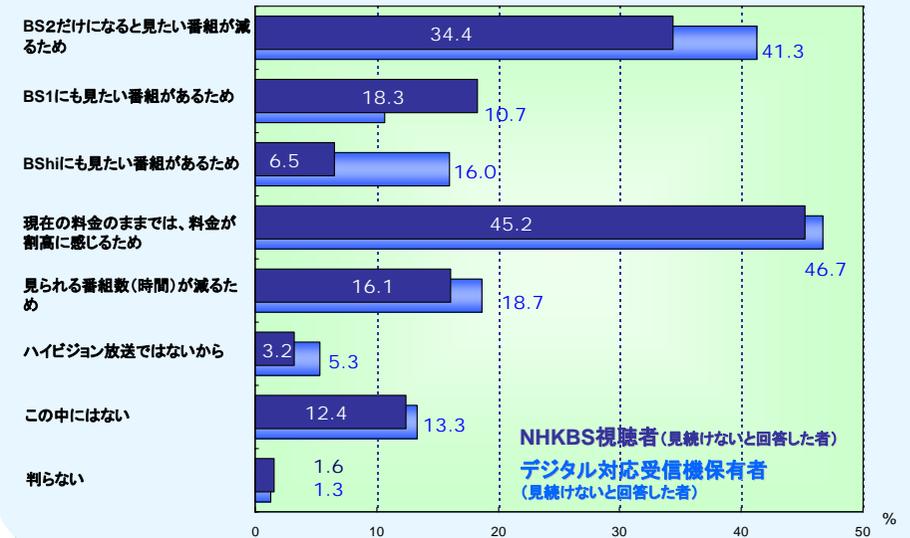


BS2だけの場合の視聴

視聴意向



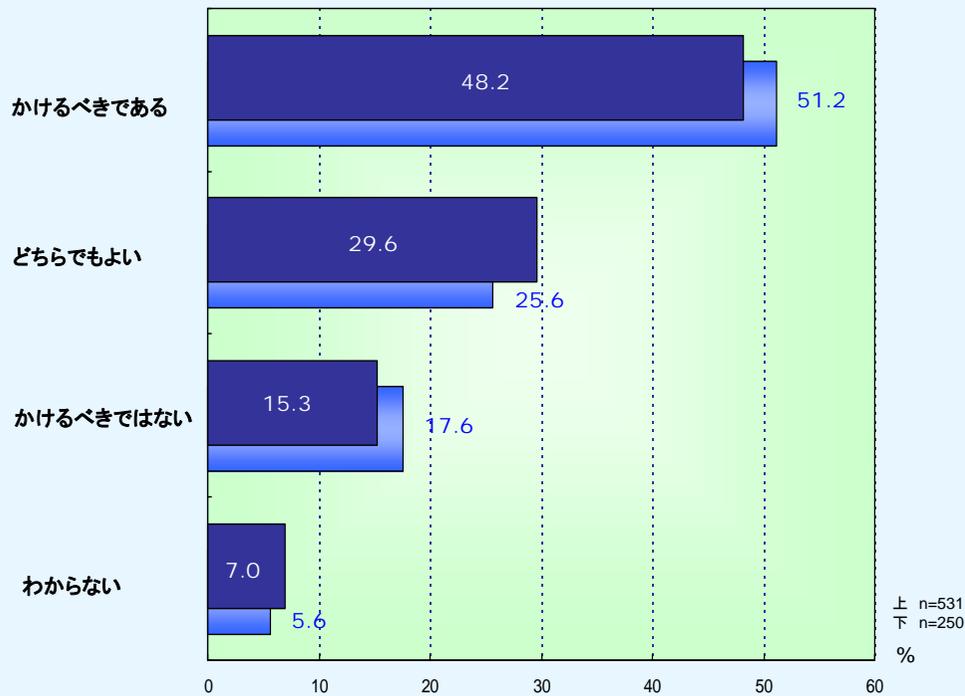
視聴しない理由



NHKの衛星放送のスクランブル化

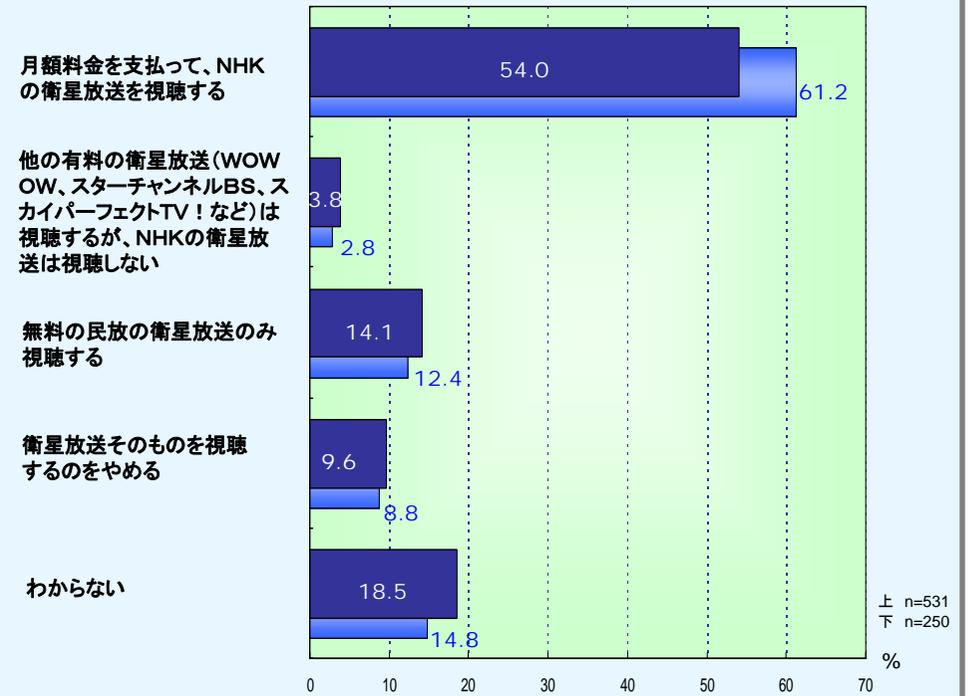
- NHKの衛星放送については、約半数がスクランブルを行うべきと回答。
- NHKの衛星放送にスクランブルを行った場合であっても、半数以上は、料金を支払って、NHKの衛星放送の視聴を継続する意向。

NHKの衛星放送に
スクランブルをかけるべき



NHKBS視聴者
デジタル対応受信機保有者

NHKの衛星放送に
スクランブルがかかった場合



NHKBS視聴者
デジタル対応受信機保有者